



ゆめごろぼ

第8号(平成29年3月16日発行)

感動のうず！ 清らかな歌声が会場いっぱいに
誰もが優しい気持ちになれるあたたかい時間でした！



去る12月7日、掛川市「竹の丸」において、外国人として初めて市男女共同参画推進委員に就いている米国人牧師のポストロム・ジョンさんの講演会を開催しました。テーマは「君は、愛されるために生まれた ~命の大切さ、ジョンさんからのメッセージ~」。ジョンさんは、「うちは貧しかったけど、父親は全員に毎日のように『愛している』と語り掛け、母親はピアノの発表会でカーテンを衣装代わりにしてくれた」と話し、歌を披露しながら、「愛を受けて人に愛を与える人になる」と伝えました。また、自らの子育ての経験から、「成績が悪いからデザートをあげない、テレビは見ちゃダメという接し方は、子どもが認められていないと思い、ショックを受ける」と説明し、「できる、できないで判断せず、『いる』ことや『生きている』ことに感謝し、愛してあげてほしい」と訴えました。60名の参加者が聴き入り、次のような感想が寄せられました。（横山孝子）

- ・心あたたまる時間でした。これから「愛してる」と言葉で伝えたいです。
- ・「愛してる」と家族に言葉で伝えようと思いました。弾き語り素敵でした。
- ・自分を愛し、人を愛し、これからの人生を楽しみたいです。

『新しい働き方』テレワークを利用したワーク・ライフ・バランス

2月28日に掛川市役所でテレワーク講演会と宣言事業所情報交換会を開催しました。



テレワークとは「テレ（離れた）」「ワーク（仕事）」の造語で、職場から離れた場所で仕事をする仕組みの事です。

この日は市内の男女共同参画宣言事業所関係者など46人が参加し、時間や場所を有効に活用できる働き方について勉強をしました。

また、後半の宣言事業所情報交換会では、①「テレワークについて」、②「ワーク・ライフ・バランス実現のための取組」の2つのテーマについて意見交換会を行いました。

テレワーク導入については、業務内容の見直し、コスト面等の課題があり、なかなか導入にまでは至らないという意見が多く聴かれました。

ワーク・ライフ・バランスの取組については各事業所毎に様々な取組を実施しており、「働き方の改革」に対して前向きな姿勢が伺えました。
(樋口京一)

歴史から読み取る女性のチカラ

3月4日に大日本報徳社仰徳記念館で男女共同参画推進企画講座が開催されました。



掛川桜がチラホラ咲き始める掛川城近くの大日本報徳社仰徳記念館にて掛川市男女共同参画推進委員による企画講座「歴史から読み取る女性のチカラ」を開催しました。

講師に「掛川城おもてなし隊」として有名な、服部平太夫氏と服部新兵衛氏ら3人の忍者を招いて掛川城や掛川の歴史、忍者の話、今年の大河ドラマ「井伊直虎」、山内一豊の妻「お千代」の話など、掛川にゆかりのある女性達のエピソードを判り易く、面白いトークショーを披露してくれました。

参加者(25名)は、服部氏らの話に真剣に聴き入っていました。自分も掛川に住んできたものの初めて聞くエピソードもたくさんありました。

(落合翔太郎)

本年度の男女共同参画推進委員出前講座

(1) 絵本・紙芝居読み聞かせ

夏休みを利用して市内5ヶ所の学童保育所へ男女共同参画推進委員が人権についての読み聞かせを実施しました。

- ・中央小学校 120人
- ・佐東小学校 28人
- ・千浜小学校 14人
- ・西郷小学校 28人
- ・上内田小学校 32人



人権についての紙芝居を真剣に聴く子どもたち

(2) 原谷女性学級出前講座

日時) 7/9 (土) 13:30~16:00

会場) 原谷地域生涯学習センター

内容) ①講話「『掛川市』の広域避難所」

②HUG (避難所運営ゲーム) 体験

参加者) 16名



◎参加者の感想

- ・避難所と一言で言ってもとても意味が深く大変な事だなと感じました。トイレ・着替え等場所をどこにしたらいいか、学校にある場所を有効に使う事を考えるのもすぐには頭が回らずサポートの方に言われるまでわからなくすごく勉強になりました。
- ・HUG (避難所運営ゲーム) ととても勉強になりました。

「男女共同参画社会」の基盤は、人権尊重の精神

男女共同参画社会の実現は、性差別を改善する以前に人と人とが認め合うことができる「心のユニバーサルデザイン」を社会全体で育てていくことです。ユニバーサルデザインはすべての人のためのデザインであり、まちづくりやものづくりを進めるに当たり、年齢、性別、能力、言語など人々がもつ様々な特性や違いを認め合い、すべての人に配慮した環境、建築、施設、製品等のデザインをしていこうとする考え方です。「みんな違って、みんないい」。人と協調し合い、お互いを認め思いやる人権感覚を幼い頃から養い育ていく家庭や地域社会の形成が不可欠です。



(横山孝子)

推進委員の今年を振り返っての「一言」

私は元推進委員の富田さんに誘われて委員になりました。どのようなことをやるのかもわからず、参加しました。月に一回の委員会では市内から集まる方々の色々な考えや、見方、アイデアを知ることができ、とても有意義な経験をさせてもらいました。

ポストロム・ジョン



自分はまだまだ推進委員として何をやれたのか自問中です。推進委員同士でお互いの男女共同参画についての話し合いの場があっても良いのではなかったと思います。その他にも勉強会等を開いてお互いの考え方を共有して行事に臨めたらもっと有意義に進められたのではないかと思います。来年度に向けてより良い、すばらしい男女共同参画の推進を望みます。

樋口京一



平成 27 年から、推進委員をお受けして 2 年間勤めさせて頂きました。色々な分野の人とお会い出来たのが一番の収穫でした。委員会も毎回楽しく参加させて頂きました。ありがとうございました。

松下典子



委員会を通して新しい方との出会い、HUG 体験など、貴重な学びの場をありがとうございました。

今関智子



自分が委員になって、人には人の数だけやれることや役割があり、子どもから大人まで性別を問わず、みんなが活躍できる社会の仕組みづくりを少しずつでいいので、みんなで作ることが大切だということを学びました。

落合翔太郎



一年間ありがとうございました。色々な活動を通して貴重な体験、たくさんの方々との交流を図ることができ嬉しく思います。小さなことからコツコツと私なりの「男女共同参画」頑張ってみたいと思います。

永田悦子



推進委員として 2 年間勤めさせて頂きました中で、委員の皆さんをはじめ色々な方々と出会い、たくさんのことを学ばせていただきました。また講座なども企画させて頂き、色々な経験ができ、実りの多い 2 年でした。

春田篤志



掛川市男女共同参画推進委員募集します！

男女共同参画推進委員会では、性別や年齢などに関わらず、お互いを思いやり、支え合いながら、自分らしく生き生きと暮らせる社会（男女共同参画社会）を実現するために様々な活動を行っています。あなたの能力を活かすチャンスです！ぜひ、市民の視点から推進活動に取り組んでみませんか。

【募集人員】 7人以内

【任 期】 平成 29 年度委嘱の日から平成 30 年 3 月 31 日まで（1 年）

【対 象】 市内在住で満 20 歳以上の方

【応募方法】

市役所 1 階総合案内、3 階生涯学習協働推進課、大東・大須賀支所地域支援係で配布の応募用紙と「これからの男女共同参画」をテーマにした論文を直接提出、郵送または E メールで応募（応募用紙は、ご連絡いただければ郵送します）。 ※応募書類は返却しません。選考以外の目的には使用しません。

【申込・問合せ】 〒436-8650 掛川市長谷一丁目 1 番地の 1 生涯学習協働推進課 男女協働係

TEL： 21-1129 E-mail： kyodo@city.kakegawa.shizuoka.jp

